

◆令和元年度 地方創生推進交付金 実施事業一覧

(単位:円)

No.	事業主体名称	事業名及び内容	交付決定額	実績額
1	泉南市 (産業観光課)	【事業名】 産官学連携まち・海・里山創生事業 【内容】 ・大学連携によるアナゴの養殖事業の展開 (岡田浦漁業協同組合)	3,500,000	3,477,400
	泉南市 (産業観光課)	【事業名】 産官学連携まち・海・里山創生事業 【内容】 ・農業塾・砂栽培プラントの運営 ・農業公園(花咲きファーム)を核とした活性化イベントの開催、農水産観光の確立検討	3,000,000	1,833,291
2	KIX泉州ツーリズムビューロー	【事業名】 KIX泉州ツーリズムビューロー事業 【内容】 ・泉州の認知度の向上を目指し、体験型観光を推進することで観光客数及び地域内消費額の増加による地域経済の活性化を図る。 ・一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューローが事業を実施しており、堺市から岬町までの9市4町は正会員として参画し、負担金及び会費を支出している。	3,941,000	3,941,000
計			10,441,000	9,251,691

令和元年度 地方創生推進交付金 事業報告

◆事業No:1-1

担当部局	事業名
市民生活環境部 産業観光課	産官学連携まち・海・里山創生事業 (水産分野)
交付金決定額 (単位:円)	実績額 (単位:円)
3,500,000	3,477,400
事業概要	
この10年で漁獲高が10%に激減(平成16年の140tから平成28年9t)している泉南市のアナゴの保全・再生を図り、水産業を活性化するため、アナゴの養殖研究に取り組んでいる近畿大学水産研究所の指導のもと、市のマネジメントにより漁業協同組合が主体となってアナゴの養殖を実施する。漁業協同組合のアナゴ事業の確立(経営の自立)を目指し、経営の視点を主とした試験養殖によるデータの採取を行うとともに、外食産業との連携やふるさと納税返礼品への活用等により、地域ブランドの確立と付加価値創造を目的としたPRを促進し、水産業の活性化を図り、さらに地域の活性化につなげる。	
事業成果	
1. 事業実施内容 1) アナゴの養殖 H31.4.16、17 本井ストレーナー清掃 H31.4.24 近畿大学に30年度の実績報告と31年度事業報告 R1.7.25 円形大水槽設置(10t) R1.9.27 中国新聞取材 R2.3 泉南あなご養殖事業計画策定 R2.3 泉南あなご加工試作品作製(缶詰4種類) 2) PR R1.6.28～29 G20大阪サミットへ食材提供 R1.7.9 淡路漁協視察 R1.7.18 ちちんぷいぷい撮影(25日放送) R1.10.27 不動産フェア参加(あなご販売) R1.11.20 FM大阪ラジオ収録 R1.11 ふるさと納税返礼品出品(50セット タレ焼・白焼2尾づつ) R1.12.3 関西ラジオワイド出演 R1.12.7 せんなん農と海の恵みマルシェであなご販売 泉南あなごPR大作戦!2019ー食べに来てや泉南あなごー (12月1日から12月22日 市内外4店舗で実施) R2.1.28 ホテル日航G調理部門大阪新年会で泉南あなご出品 R2.2.20 シーフードショー大阪に出品 試験販売の開始(随時)	
2.事業費 事業実績額 6,978,917円 地方創生推進交付金1/2 3,477,400円(ソフト事業実績額5,024,117円で実施計画値5,000,000円をオーバーしたため、オーバー分は市負担) 【ソフト事業】 養殖費用 2,927,312円 養殖施設改修費用 1,549,800円 養殖アナゴブランド化・PR費用 441,645円 旅費 5,360円 養殖アナゴ推進費(指導報酬等) 100,000円 【ハード事業】 設備改良・備品等 1,954,800円	

令和元年度 地方創生推進交付金 事業報告

◆事業No:1-2

担当部局	事業名
市民生活環境部 産業観光課	産官学連携まち・海・里山創生事業 (農業分野)
交付金決定額 (単位:円)	実績額 (単位:円)
3,000,000	1,833,291
事業概要	
I: 泉南農業塾運営事業 1 遊休農地等を学習ほ場として活用し、泉南の農業の担い手を育成するため、市が主体となり農業塾を運営する。 2 塾生は通塾により経営農家に向けた知識(作付、栽培など)を習得し、卒業後は泉南市内での新規就農を目指す。 II: 砂栽培プラント展示事業 官民連携のもと、小規模な砂栽培プラントを設置し、市内をはじめ泉州地域の農家・企業等に砂栽培の見学・体験機会を付与するとともに、泉南農業塾の学習施設として活用する。 III: 農業公園活性化推進事業 農業公園(花咲きファーム)を核とし、市内の農水産の要素を組み合わせた農水産観光の確立を目指した新たなイベントの開催や、市民協働による芝桜の植栽などにより農業公園の活性化とにぎわいの創出を図る。	
事業成果	
・事業実施内容 1. 農業公園「花咲きファーム」を核とした継続的なにぎわい創出 1)【農業公園「花咲きファーム」活性化】 R1.5.15 座間市行政視察 R1.6.19 農業公園ボランティア活動(雑草抜き) R1.10.15 農業公園ボランティア活動(雑草抜き) R1.12.7 第4回せんなん農と海の恵みマルシェ開催 R2.3.5 農業公園ボランティア活動(雑草抜き・芝桜定植) R2.3.23 農業公園ボランティア活動(雑草抜き・芝桜定植) 2. 農業塾・砂栽培プラントの運営 1) H30.11.6 第3期スタート(塾生4名 補助員5名) 毎週火曜日講義実施。 R1.7.31までにトマト他19種植付 R1.7.31までに玉ねぎ他19種収穫 R1.8 8月広報で第4期生募集記事掲載 R1.10.1 認定こども園さつま芋収穫体験実施 R1.10.31までにキャベツ他10種植付 R1.10.31までに里芋、さつま芋収穫 R1.11.6 第4期スタート(塾生7名 補助員4名) R1.12.7 せんなん農と海の恵みマルシェで野菜等出品 R1.12.24 ヒューマンアグリ(水耕栽培)施設見学 R2.2.13 認定こども園じゃがいも植付体験 R2.3.24 「泉南農業塾」設立総会にて団体設立 R2.3.31までにほうれん草ほか11種植付 R2.3.31までに大根ほか13種収穫 R2.3.31時点 塾生4名 補助員4名	

事業成果	
2) 砂栽培プラントの活用	
R1.6.6	大阪市立大学が温湿度センサーデータ収集。
R1.6.19	砂栽培体験者募集フェイスブックに掲載
R1.10.1	西口 敦美(イチゴ栽培)体験開始
R1.10.2	グリーンファームによる砂栽培指導
R2.1.9	砂栽培プラント2名見学
R2.3.9	なるにつこ認定こども園へ栽培したイチゴを提供
・事業費 事業実績額 3,666,583円 地方創生推進交付金1/2 1,833,291円	
【ソフト事業】	
農業塾運営費(資材・資金等) 731,464円	
砂栽培プラント運営費 109,439円	
農水産観光費 2,360,600円	
【ハード事業費】	
農水産観光費 465,080円	

令和元年度 地方創生推進交付金 事業報告

◆事業No:2

担当部局	事業名
市民生活環境部 産業観光課	KIX泉州ツーリズムビューロー事業 (観光分野)
交付金決定額 (単位:円)	実績額 (単位:円)
3,941,000	3,941,000
事業概要	
マーケティング調査結果を踏まえ、次の3つのコンセプトのもと以下の事業を展開することにより、観光客数および地域内消費額の増加による地域経済の活性化を図る。 (認知度向上) 泉州地域には、大阪府内でありながら、海や山といった自然があり、また百舌鳥古墳群をはじめ、岸和田城やだんじり祭りといった歴史文化資産が存在している。食においても、大阪湾の魚介類や地場の農産物等の食材が豊富で、新鮮でバラエティに富んだ個性的な食文化がある。これらをより差別性のある「泉州ならではの価値」として磨き上げつつ、外向きに発信していくことで、「泉州」の認知度向上をめざす。 (セカンド・デスティネーション) 現状では、泉州地域を主な目的地とするインバウンド客数は決して多くない。そのため、関西国際空港に近接する泉州地域の強みを最大限に発揮することのできるアプローチが重要である。入国直後の旅行中に持ち運べる食品等の販売。主な目的地である大阪市内や京都における泉州地域のPR。出国直前の使いきり需要を掘り起こす地産品の物販。このようにセカンド・デスティネーションとして地域への滞在を促す3つのパターンを想定し、「泉州」の認知度向上に貢献することをめざす。 (体験型観光) 泉州地域で作られる豊富な食材・食品を観光資源として活かすため、“買う”、“食べる”、“作る”の魅力をパッケージ化する。泉州地域の食材は多様かつ豊富であるので、食材そのものを打ち出すのではなく、それを複合化した食文化として再構築しブランド化するとともに、関西国際空港に近接する立地を活かし、インバウンド客に向けたプロモーションを実施する。 また、高野山や淡路島等で自転車ツーリングを楽しむ旅行者に対して、泉州サイクルルートを活用した地域資源のプロモーションや近隣府県と連携したサイクリングイベントの実施により誘客を図る。また、ワールドマスタースゲームズ2021関西では、関西国際空港から来日する自転車愛好家の増加が見込まれるため、その好機を生かして海外のサイクルツーリストの泉州地域への立ち寄りを促進する。 さらには、泉州地域に豊富に資源が存在する歴史文化や産業へとテーマを拡大し、さらなる誘客を図る。 【事業実施主体】一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューロー ※堺市から岬町までの9市4町における観光振興を目的とし、これまで個別の取り組みとして活動していた泉州観光プロモーション推進協議会、KIX泉州国際マラソン実行委員会、華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会の3団体を統合のうえ平成30年3月に設立された。9市4町は正会員として参画し、負担金及び会費を支出している。	

事業成果

ソフト事業 7,882,000円 地方創生推進交付金1/2 3,941,000円

1.プロモーション・商品企画・開発事業 4,093,702円

- (1)メディア・ブロガー等を活用した東アジア向けプロモーション
- (2)KIX泉州国際マラソンランナーに向けたプロモーション
- (3)南海電鉄と協働によるなすびんウォークをはじめとした国内プロモーション
- (4)泉州サイクルルートの利用促進に向けたサイクルイベント等の実施
- (5)関西国際空港を拠点とした移動型定期観光バスの試験運行の実施

2.情報発信事業 1,006,310円

- (1)大阪泉州まるわかり屋の運営及び情報発信、「食」に特化した特産品の販売
- (2)ホームページ、SNSのリニューアル、メディア、ガイドブック等を活用した情報発信

3.受入環境事業 1,094,218円

- (1)泉州サイクルルートにおけるサイクルステーションの拡充及びサイクルルート普及に向けた調査研究
- (2)泉州地域内の民間企業、経済団体と協働した「食」をテーマとした商品企画
- (3)アンケート調査等による関西国際空港に到着した外国人旅行客の行動パターンの把握
- (4)RESAS等を活用した外国人旅行客の動向調査

4.DMOの専門人材人件費 1,687,771円

- (1)観光分野の専門人材 3名